

平成 26 年度事業報告 【要約編】

平成 26 年度は、公益社団法人への移行 3 事業年度目を迎え、その移行をより確かなものとするため、**社会貢献**と**会員への支援**を両輪として事業を展開し、その結果、概ね順調に終了した。

《社会貢献》

1 不法投棄防止活動

(1) 街頭キャンペーンや統一パトロールへの参加協力

6 月の環境月間や 12 月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに支部毎に取り組み、役員等計 240 名が参加、協力した。

(2) 不法投棄廃棄物の回収作業等の実施

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計 189 名の参加により、県内 6 か所の不法投棄廃棄物の回収作業等に取り組んだ。

また、今年度は、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力したこともあって、例年の実績を大幅に上回る 36 t を超える不法投棄廃棄物を回収した。

なお、この富士支部の回収作業は、TV 放映や新聞報道された。

この他、伊豆支部の崩落防止作業が県から感謝状をいただくとともに、新聞報道されるなど当協会の PR にも役立った。

2 災害対策支援事業の実施

平成 27 年 1 月 16 日に静岡県が実施した地震対策大規模図上訓練に併わせて、会員企業 360 社の参加による災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。

また、(公社) 全国産業廃棄物連合会や環境省中部地方環境事務所、静岡県が主催する災害廃棄物処理に関する会議等に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

3 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんぱい探偵団」の実施

平成 5 年度から 22 年間継続実施している、「ぼくらはさんぱい探偵団 (夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、7 支部 8 コースで実施し、小学生の親子等計 125 組、317 名が参加した。

「ただ燃やすだけでなく、ゴミの中からミックスメタルや溶融スラグを取り出したり、発電したりしていることがわかった。」「学校給食で使った油がディーゼル燃料に生まれ変わることがわかった。」「不法投棄に最高 1 千万円の罰金が科せられるというのには驚いた。」などといった参加者の感想文にみられるように、この事業は身近な環境学習の場の提供として意義のあるものに育っている。

4 大学生を対象とした処理施設視察会等の実施

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、県立大と静岡大の学生を対象に各 1 回実施し、両大学併せて学生・教授等 43 名が参加した。両大学とも、この視察会及び意見交換会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

5 環境イベント等への参加による啓発活動

各支部の役員や会員が最寄りの市等が実施する環境イベント等に参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。東部支部では、会員企業が提供したリサイクル品等を販売し、その売上収益金約13万円を慈善事業に寄託した。

《会員への支援》

1 情報の収集・提供

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集

(公社)全国産業廃棄物連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計18回)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応

機関誌「しずおかの産廃」、ホームページや環境情報配信サービス等により、会員へのタイムリーな情報提供に努めるとともに、会員からの相談にも随時対応した。

2 各種講習会・研修会の開催

(1) 法令改正等に関する講習会や実務向上研修会等の開催

法制度等を周知するための「有害廃棄物についての講座」、実務の向上等を図るための「産業廃棄物処理実務者研修会」や「電子マニフェストシステム実務研修会」等を静岡市や浜松市等で6回開催し、計381名の参加があった。

特に、当協会の職員が講師を務めた電子マニフェストの研修会などは好評であった。

(2) 産業廃棄物処理業許可等講習会の開催

(公社)全国産業廃棄物連合会等と連携協力し、新規許可申請者や更新許可申請者等を対象とした講習会を11回開催し、計1,463名の参加があった。

(3) 暴力追放推進に関する講習会の開催

暴力追放の推進を図るため、昨年12月に開催した「不当要求防止責任者講習会」では94名の参加があった。

(4) 各支部主催の勉強会等の開催

各支部において、「産業廃棄物処理委託契約書作成時のポイント」や「産業廃棄物排出時の留意事項」などといったテーマによる勉強会等を各支部1回開催し、併せて901名の参加があった。

3 専門部会等の活動

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物の各専門部会は、幹事会や講習会の開催、先進事例の視察、(公社)全国産業廃棄物連合会の専門委員会等への参加などを通じて活発に活動した。

このうち、医療廃棄物部会は、昨年2月に県と締結した「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の実効性を確保するため、県の鳥インフルエンザ防疫演習などに参加するとともに、対応マニュアル等を策定した。

また、青年部会も昨年11月に名古屋市で開催された全国産業廃棄物連合会青年部協議会第9回全国大会に当日運営スタッフとして参加協力するなど精力的に活動した。

4 先進事例等の視察研修会の実施

(1) 本部主催の視察研修会

幅広く環境情報等を収集するため、昨年5月に東京ビッグサイトで開催された「2014NEW環境展」を会員等101名が参加し視察研修を行った。

(2) 各支部主催の視察研修会

各支部毎に昨年秋から今年の冬にかけて県内外の優良施設等計12箇所を会員等計113名が参加し視察研修を行った。

5 表彰

(1) 知事褒賞

昨年5月23日に開催された定時総会に先立ち、平成25年度産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞授与式が行われ、会員企業1社が受賞された。

(2) (公社) 静岡県産業廃棄物協会会長表彰

昨年5月23日に開催された定時総会に併せて平成25年度会長表彰が行われ、功労者表彰6名、優良従事者表彰1名、優良事業所表彰1社が受賞された。

(3) (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰

昨年6月13日に開催された(公社)全国産業廃棄物連合会定時総会に併せて平成26年度同連合会会長表彰が行われ、当協会関係では、功労者表彰1名と優良事業所表彰1社の受賞があった。

《管理運営》

1 定時総会・理事会等の開催

定時総会が昨年5月に、また、理事会が昨年4月、5月、10月、今年の3月に開催され、予算や決算、定款の一部変更、理事の選任等に関する議案の決議が行われるとともに、事業の実績報告等も行われた。

また、運営、適正処理、広報等の各委員会も必要に応じて開催され、活発な議論等が行われた。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

講習会などにおいて入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努めたが、8件の入会にとどまった。その一方で27件の退会等があったため、平成26年度末の会員総数は1,118会員となっている。

※ この要約編は、「社会貢献」、「会員への支援」、「管理運営」という3つの切り口でその要点を詳細編から抜き出してとりまとめているので、詳細編の項目等とは必ずしも一致するとは限らない。

平成 26 年度 事業報告 【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5月30日から6月5日）や環境月間（6月）に静岡県等の実施する統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成 26 年 5 月 30 日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 3 名
	東部 //	沼津市、三島市、裾野市、伊豆の国市、御殿場市	東部支部役員 10 名
	中部 //	焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 10 名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員 2 名
静岡市 ※		静岡市	中部支部役員等 76 名
浜松市		浜松市	西部支部役員等 13 名
計			114 名

※静岡市はパトロールと回収作業を実施した。

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成 26 年 6 月 2 日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 10 名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員 3 名
	東部 //	J R 富士駅	東部・富士支部役員等 11 名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部役員等 11 名
	西部 //	J R 磐田駅	中遠支部役員 8 名
計			43 名

- ② 支部役員等が不法投棄撲滅強化月間（12月）に静岡県等の実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成 26 年 12 月 2 日 *浜松市・西部支部は、平成 26 年 12 月 7 日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 14 名
	賀茂健康福祉センター	マックスバリュー伊豆下田店	伊豆支部役員 2 名
	東部 //	J R 沼津駅	東部・富士支部役員等 15 名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部役員等 9 名
	西部 //	遠鉄ストア菊川店	中遠支部役員等 5 名
浜松市・西部支部		J R 浜松駅	西部支部役員等 10 名
計			55 名

ii) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成 26 年 12 月 5 日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 2 名
	東部 //	沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、長泉町	東部支部役員 13 名
	中部 //	焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 10 名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員 3 名
計			28 名

③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において不法投棄廃棄物の回収作業等を実施した。

実施日／実施機関	場所	実績	参加者
平成 26 年 5 月 30 日 中部支部・静岡市	静岡市 葵区	一般廃棄物等 1.28 t	中部支部役員、静岡市職員 等 28 名
6 月 27 日 西部支部・浜松市	浜松市 浜北区	一般廃棄物 1,820 kg、 産業廃棄物 630 kg	西部支部会員、浜松市職員、 自治会 80 名
7 月 7 日～8 日 伊豆支部・賀茂健康福祉センター	伊東市	産業廃棄物 4,000 m ³ の崩落防止	伊豆支部役員、賀茂健福職 員等 5 名
12 月 5 日 中部支部・静岡市	静岡市 清水区	一般廃棄物等 340 kg	中部支部役員、静岡市職員 等 13 名
平成 27 年 1 月 23 日 富士支部・県廃棄物リサイク ル課・東部健康福祉センター	富士宮市	がれき類 30.59 t	富士支部役員、県廃棄物リ サイクル課職員、東部健福 職員等 19 名
2 月 19 日 中遠支部・西部健康福祉センター	磐田市	解体系混合廃棄物 (産業廃棄物) 32 m ³ 、 廃タイヤ 1,940 kg	中遠支部会員、西部健福職 員 44 名
計			189 名

- ④ 平成 26 年 5 月 14 日に三重県四日市市において中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」が開催され、国、中部四県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）及びその政令市並びに中部四県協会等が参加し、産業廃棄物不法処理防止について情報交換等をした。

（2）災害対策支援事業

- ① 平成 27 年 1 月 16 日に静岡県が実施した地震対策大規模図上訓練に併わせて、災害廃棄物処理等の協力可能会員 360 社が参加して、災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。
- ② 平成 26 年 4 月 23 日に東京都で開催された「災害廃棄物処理担当者連絡会議（主催：（公社）全国産業廃棄物連合会）」に災害対策委員と事務局が出席した。
- ③ 平成 26 年 8 月 8 日、10 月 22 日に静岡市で開催された「静岡県災害廃棄物処理計画に関する連絡会（主催：静岡県）」に災害対策委員と事務局が出席した。
- ④ 平成 26 年 9 月 11 日に静岡市で開催された「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会第 1 回準備会」及び 10 月 31 日に岐阜県で開催された「第 1 回大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会（主催：環境省中部地方環境事務所）」に災害対策委員と事務局が出席した。
- ⑤ 平成 27 年 2 月 2 日に静岡市内で開催された「災害時応援協定締結事業者との研修・情報交換会（主催：静岡県）」に事務局が参加した。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんぱい探偵団事業

- ① 廃棄物にかかわる環境学習の場の提供として、平成26年7月29日から8月7日にかけて、「ぼくらはさんぱい探偵団（夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会）」を7支部で実施（中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施）し、小学生親子等125組317名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	平成26年 8月6日	・(株)三島チップ ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	10組27名
東部	8月1日	・(株)イーシーセンター富士ステーション ・アサヒ飲料(株)富士山工場	10組29名
富士	7月30日	・(株)ヤマハピアノ製造 ・(株)松浦スチロール工業所	15組42名
中部 (静岡地区)	8月5日	・(株)ヤクルト本社富士裾野工場 ・(株)駿河サービス工業	19組46名
中部 (清水地区)	8月7日	・(株)明治東海工場 ・(株)チューサイ	19組48名
志太榛原	8月6日	・(株)明治東海工場 ・静岡油化工業(株)	20組47名
中遠	8月4日	・ハウス食品(株)静岡工場 ・(株)富士エコサイクル	19組45名
西部	7月29日	・(株)太洋サービス ・浜松市西部清掃工場 ・浜松市エコハウスモデル住宅	13組33名
計			125組317名

- ② 参加した小学生親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんぱい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。また、本年はポスターと標語の募集も行った。

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、県立大と静岡大の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会及び意見交換会を2回実施した。

なお、両大学とも、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
平成26年10月27日	・(株)J-オイルミルズ静岡工場 ・静岡油化工業(株)	静岡県立大学大学院食品栄養環境科学専攻生及び教員21名
平成27年2月13日	・(株)太洋サービス ・(株)富士エコサイクル	静岡大学人文社会科学部法学科・経済学科生及び教員22名

(3) 展示会等出展事業

3Rの推進など循環型社会構築への理解を図るため、各支部において地域の環境イベント等に出展・参加し、啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
伊豆	平成26年 11月2日	「ごみフェスティバル in 伊東」 ・啓発ティッシュの配布	役員等6名
東部	平成27年 2月1日	「2015ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」 ・支部会員からの提供品によるバザー ・売上収益金(129,350円)を寄託	役員等13名
富士	平成26年 11月1日	「富士市産業まつり商工フェア」 ・環境クイズ等の実施	役員等12名
中部	10月11日	「第12回静岡市ごみリサイクル展」 ・廃食油を使ったエコキャンドル作りの体験	役員等5名
志太榛原	11月3日	「金谷文化産業祭」 ・空き缶回収、環境クイズ等の実施	役員等12名
西部	8月～9月	浜松市西部清掃工場において、支部会員の環境等報告書を展示	支部会員11社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社)全国産業廃棄物連合会関係】

開催日	開催場所	会議名	出席者(協会)
平成26年 4月4日	東京都	全国正会員事業研修	担当者
16日	名古屋市	中部地域協議会第1回専務理事会議	専務理事
6月13日	東京都	第4回定時総会	会長、専務理事、理事
7月28日	静岡市	中部地域協議会第1回会長・理事長会議	会長、専務理事
〃	静岡市	中部地域協議会第1回全体会議	会長、専務理事、理事
8月1日	東京都	電子マニフェストに関する意見交換会	専務理事
〃	東京都	第1回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
10月15日	四日市市	中部地域協議会第2回専務理事会議	専務理事
11月7日	盛岡市	第13回産業廃棄物と環境を考える全国大会	副会長、専務理事、理事
10日	東京都	第1回教育研修委員会	専務理事
27日	名古屋市	中部地域協議会第2回会長・理事長会議	会長、専務理事
平成27年 1月16日	東京都	新年賀詞交歓会	副会長、専務理事、理事
30日	東京都	第2回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2月12日	岐阜市	中部地域協議会第3回専務理事会議	専務理事
27日	静岡市	全国正会員会長・理事長会議	会長、副会長、専務理事
3月5日	東京都	第2回教育研修委員会	専務理事
9日	名古屋市	中部地域協議会第3回会長・理事長会議	会長、専務理事
〃	名古屋市	中部地域協議会第2回全体会議	会長、専務理事、理事

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

産業廃棄物処理業許可事務をはじめ、適正処理やリサイクル等に係わる指導、相談を協会本部で電話等により日常的に対応した。

(3) 法令改正等講習会事業

①平成 26 年度講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 26 年 11 月 11 日	静岡市	「有害廃棄物についての講座」 ・ W D S の活用 ・ P C B 廃棄物の処理 ・ 水銀条約に係る今後の水銀廃棄物の処理	176 名

②産業廃棄物処理実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 26 年 7 月 15 日	静岡市	「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース－」 ・ 産業廃棄物の基礎 ・ 産業廃棄物の委託処理と委託契約 ・ 産業廃棄物管理票、帳簿	123 名

③電子マニフェストシステム実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 26 年 8 月 28 日、9 月 2 日 9 月 3 日 8 月 25 日	沼津市 静岡市 浜松市	「電子マニフェストシステム実務研修会」 ・ 電子マニフェストシステムの仕組みと運用 ・ 電子マニフェストシステムの操作体験	計 82 名

(4) 部会活動事業

①医療廃棄物部会

- i) 平成 26 年 7 月 22 日と平成 27 年 2 月 17 日に幹事会を開催し、「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の実効性の確保等を協議するとともに県畜産課と意見交換した。
- ii) 平成 27 年 3 月 26 日に総会及び説明会を開催し、平成 27 年度事業等について協議した。説明会「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定の運用」には、会員 39 名が参加した。
- iii) 平成 26 年 10 月 30 日に富士宮市で実施された「静岡県鳥インフルエンザ防疫演習（主催：静岡県）」、平成 27 年 1 月 14 日に袋井市で実施された「西部地域口蹄疫防疫訓練（主催：県西部危機管理局等）」に部会幹事及び事務局が参加した。

なお、西部地域口蹄疫防疫訓練には、県の要請により処理業者会員から車両 1 台を手配し、実演に協力した。

- iv) 平成 26 年 9 月 22 日に当協会、(一社) 東京都産業廃棄物協会と(公社) 神奈川県産業廃棄物協会との医療廃棄物合同懇談会が初めて開催され、部会幹事及び事務局 4 名が出席した。
- v) 平成 26 年 5 月 28 日、10 月 17 日に開催された(公社) 全国産業廃棄物連合会医療廃棄物部会運営委員会に部会長が出席した。
- vi) 平成 26 年 7 月 17 日に開催された「第 33 回有害・医療廃棄物研究講演会」及び平成 27 年 2 月 20 日に開催された「第 22 回有害・医療廃棄物研修会(主催: 有害医療廃棄物研究会)」に担当者が出席した。

②建設廃棄物部会

- i) 平成 26 年 12 月 17 日に幹事会を開催し、平成 26 年度事業等について協議した。
- ii) 平成 27 年 2 月 10 日に総会及び勉強会を開催し、平成 27 年度事業等について協議した。

勉強会では、大阪ベントナイト事業協同組合 統括プラント技術長 水野 克己氏の「ETC 電子マニフェストシステムを活用した建設廃棄物管理」についての講話に部会員 14 名が受講した。
- iii) 平成 27 年 3 月 5 日に視察研修会を開催し、部会員 6 名が参加して、大阪ベントナイト事業協同組合南港東プラントを見学した。
- iv) 平成 26 年 7 月 7 日、10 月 21 日に開催された(公社) 全国産業廃棄物連合会建設廃棄物部会運営委員会及び平成 26 年 12 月 18 日に開催された同部会建設汚泥分科会に部会長が出席した。

③食品廃棄物部会

- i) 平成 26 年 9 月 17 日に幹事会を開催し、平成 26 年度事業等について協議した。
- ii) 平成 27 年 2 月 24 日に総会及び勉強会を開催し、平成 27 年度事業等について協議した。

勉強会では、静岡大学大学院 工学研究科化学バイオ工学専攻 准教授 松田 智氏の「真に環境に優しいバイオマス利用のあり方とは？」についての講話に部会員 6 名が受講した。
- iii) 平成 27 年 3 月 10 日に視察研修会を開催し、部会員 12 名が参加して、磐田化学工業(株)を見学した。

④青年部会

- i) 平成 26 年 5 月 9 日、6 月 13 日、8 月 27 日、平成 27 年 1 月 23 日に幹事会を開催し、平成 26 年度事業や全国大会実行計画等について協議した。

- ii) 平成 26 年 6 月 13 日に総会及び勉強会を開催し、平成 25 年度事業等の報告をした。勉強会では、静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課産業廃棄物班長 栗田浩幸氏の「今、望まれている産業廃棄物処理業」についての講話に、部会員 23 名が参加した。
- iii) 平成 26 年 9 月 26 日、平成 27 年 1 月 23 日に部会員交流会を開催し、部会員相互の親睦を深め情報交換等をした。
- iv) 平成 26 年 11 月 21 日に全国産業廃棄物連合会青年部協議会第 9 回全国大会が名古屋市で開催され、部会長及び部会員等 22 名が当日運営スタッフとして参加協力した。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年 4 回発行し、行政当局から寄せられた情報、協会本部や各支部の活動状況等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

4 産業廃棄物管理票（マニフェスト）頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を頒布した。

【平成 26 年度実績】

種 類	頒布枚数(枚)
産業廃棄物管理票	262,400
建設マニフェスト	86,800
合 計	349,200

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

- ① (公社)全国産業廃棄物連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業の新規許可申請者、更新許可申請者、特別管理産業廃棄物管理責任者を対象に講習会を計 11 回開催し、計 1,463 名の参加があった。

【受講状況】

種 類	開催回数(回)	参加者(名)
産業廃棄物収集運搬課程【新規】	3	397
” 【更新】	3	446
産業廃棄物処分課程 【更新】	1	89
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	531
計	11	1,463

- ② 平成 27 年 3 月 9 日に東京都で開催された「平成 27 年度許可申請に関する講習会における事務取扱説明会（主催：（公社）全国産業廃棄物連合会）」に事務局が出席した。

II 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部（伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部）では、支部の運営、適正処理、広報の 3 委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

(2) 「支部だより」の発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者(名)	備考
伊豆	平成 26 年 6 月 24 日	「講演会」 ・まちづくりの実践 私の人生を変えたワハハとの出会い	13	
東部	平成 27 年 3 月 13 日	「勉強会」 ・建設・解体工事から発生する産業廃棄物の適正処理	44	
富士	3 月 19 日	「合同勉強会」 ・産業廃棄物処理委託契約書作成時のポイント ・富士市の大気の現況について	75	(一社)富士環境保全協会と共催
中部	3 月 17 日	「講演会」 ・静岡県第 4 次地震被害想定について ・PCB 廃棄物の今後の処理について ・産業廃棄物の適正な処理に関する条例の一部改正について	50	
志太榛原	3 月 6 日	「勉強会」 ・産業廃棄物の不法投棄等違反事例について ・優良認定と条例改正について ・PCB 廃棄物について ・定期報告について ・事前質疑に対する回答	57	
中遠	平成 26 年 12 月 12 日	「排出事業者向け適正処理研修会」 ・現場見学と意見交換	12	
西部	平成 27 年 2 月 13 日	「浜松市産業廃棄物の適正処理に係わる説明会」 ・PCB 廃棄物処理基本計画の変更と今後の処理 ・産業廃棄物排出時の留意事項 ・不法投棄未然防止のための監視協力 「特別講演」 ・事案で学ぶ廃棄物処理法	650	浜松市と共催
計			901	

(4) 視察研修会の実施

①優良施設視察研修

支部名	開催日	見 学 先	参加者(名)
伊豆	平成 26 年 11 月 28 日	「優良施設視察研修会」 ・(株)クレハ環境神奈川事業所 (神奈川県)	5
東部	11 月 13 日	「優良施設視察研修会」 ・(株)市川環境エンジニアリング (千葉県) ・(株)ハイパーサイクルシステムズ (千葉県)	14
富士	11月6日～7日	「優良施設視察研修会」 ・エーザイ(株)川島工園 (岐阜県) ・日本耐酸壘工業(株) (岐阜県)	13
中部	10月9日～10日	「優良施設視察研修会」 ・(有)飯室商店 (神奈川県) ・早来公営(株) (神奈川県)	25
志太榛原	12 月 12 日	「第 1 回優良施設視察研修会」 ・(株)三友プラントサービス (神奈川県)	15
	平成 27 年 2 月 24 日	「第 2 回優良施設視察研修会」 ・(株)バスクリン (静岡県) ・神座興産(株) (静岡県)	27
中遠・西部	平成 26 年 11 月 14 日	「廃棄物処理技術視察会」 ・(株)初田製作所 (大阪府) ・日本リサイクルセンター(株) (大阪府)	14
計			113

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業

県外優良施設の視察研修は、平成 26 年 5 月 28 日に「2014NEW環境展」を対象に会員 101 名の参加により実施し、廃棄物処理、リサイクル技術、企業の環境経営等の情報収集に努めた。

(2) 暴力追放推進事業

① 平成 26 年 5 月 23 日に「(公社) 静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第 15 回大会」を開催し、暴力追放宣言を斉唱した。

② 平成 26 年 12 月 2 日に「不当要求防止責任者講習会」を開催し、会員 94 名が参加した。受講者には、静岡県公安委員会より受講修了書が発行された。

③ 平成 26 年 10 月 20 日に浜松市内において開催された「第 32 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」に中遠支部、西部支部役員等 16 名が参加した。

(3) 労働安全衛生事業

- ① 平成 26 年 9 月 10 日に安全衛生委員会を開催し、平成 26 度安全衛生事業について協議した。
- ② 平成 27 年 1 月から 2 月にかけて、処理業者会員 3 社にドライブレコーダーを貸出し、そのデータを活用してそれらの貸出先企業において安全運転教育用マニュアルを作成した。

(4) 表彰

①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

平成 26 年 5 月 23 日の定時総会に先立ち平成 25 年度知事褒賞授与式が行われ、会員企業 1 社が受賞した。

【受賞者】

- ・共和レザー(株)

②(公社)静岡県産業廃棄物協会会長表彰

平成 26 年 5 月 23 日の定時総会に先立ち平成 25 年度会長表彰が行われ、功労者表彰 6 名、優良従事者表彰 1 名、優良事業所表彰 1 社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	(有)小浜組 小濱 渉
	三菱アルミニウム(株)富士製作所 大平 一朗
	ヤマカ(株) 加藤 泰秀
	(株)レックス 揚張 旨彦
	協会事務局 仁科 和代
	協会事務局 松浦 由香里
優良従事者表彰	丸徳商事(有) 杉山 良春
優良事業所	桜井資源(株)

③(公社)全国産業廃棄物連合会会長表彰

平成 26 年 6 月 13 日に開催された(公社)全国産業廃棄物連合会の定時総会に併せて行われた表彰式において、当協会会員の中から、功労者表彰 1 名と優良事業所表彰 1 社の受賞があった。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	東名興産(有) 新井 康久
優良事業所表彰	(株)駿河サービス工業

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

平成 26 年 5 月 23 日にホテルセンチュリー静岡で平成 26 年度定時総会が開催され、議案 4 件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告 1 件が行われた。

【決議事項】

- 第 1 号議案 平成 24 年度正味財産増減計算書内訳表の修正
- 第 2 号議案 平成 25 年度事業報告及び平成 25 年度収支決算書
- 第 3 号議案 定款の一部変更
- 第 4 号議案 任期満了に伴う役員改選

【報告事項】

- (1)平成 26 年度事業計画書及び平成 26 年度収支予算書

【出席等】

議決権のある当法人の会員総数	1,085 名
決議に必要な会員数 第 1 号議案・第 2 号議案及び第 4 号議案	543 名
第 3 号議案	724 名
出席会員数	793 名

(議決権行使書面によるもの 683 名含む)

(2) 理事会

- ① 平成 26 年 4 月 25 日に静岡グランドホテル中島屋で第 1 回理事会が開催され、議案 4 件が原案どおり決議（承認）され、そのうち 1 件が平成 26 年 5 月 23 日開催の定時総会に付議された。

また、報告 1 件が行われた。

【決議事項】

- 第 1 号議案 平成 26 年度定時総会提出議案
 - ア 平成 25 年度事業報告及び平成 25 年度収支決算書
 - イ 定款の一部変更
 - ウ 任期満了に伴う役員改選
- 第 2 号議案 新規会員の加入
- 第 3 号議案 青年部会細則の一部改正
- 第 4 号議案 平成 25 年度会長表彰（功労者表彰の部・協会職員）

【報告事項】

- (1)平成 25 年度第 4 四半期（平成 26 年 1 月～3 月）

【出席等】

理事総数	28 名
決議に必要な理事の数	15 名
出席理事数	21 名
出席監事数	2 名

- ② 平成26年5月23日にホテルセンチュリー静岡で第2回理事会が開催され、議案2件が原案どおり決議（承認）された。

【決議事項】

- 第1号議案 会長、副会長、専務理事の選定
第2号議案 支部長の任免

【出席等】

理事総数	29名
決議に必要な理事の数	15名
出席理事数	23名
出席監事数	2名

- ③ 平成26年10月31日に静岡グランドホテル中島屋で第3回理事会が開催され、議案1件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告8件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 新規会員の加入

【報告事項】

- (1)本県で開催された「中部地域協議会平成26年度第1回全体会議」の結果
- (2)静岡県災害廃棄物処理計画に関する連絡会等への参加
- (3)「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の運用に係る県との意見交換等及び東京都協会等との合同懇談会への参加
- (4)廃棄物処理施設に係る事故対策
- (5)伊豆支部の産業廃棄物崩落防止作業に県から感謝状の贈呈
- (6)県の「富士山麓不法投棄廃棄物撤去支援事業」への参加
- (7)公益社団法人北海道産業廃棄物協会の当協会会員企業施設の視察
- (8)平成26年度上半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数	29名
決議に必要な理事の数	15名
出席理事数	23名
出席監事数	1名

- ④ 平成27年3月23日に静岡グランドホテル中島屋で第4回理事会が開催され、議案6件が原案どおり決議（承認）され、そのうち1件（第3号議案「定款の一部変更」）が、6月8日開催予定の定時総会に付議されることになった。

また、報告5件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 平成27年度事業計画書及び平成27年度収支予算書
第2号議案 平成27年度定時総会の開催
第3号議案 定款の一部変更
第4号議案 新規会員の入会
第5号議案 平成26年度会長表彰
第6号議案 事務局における新たな役職の設置

【報告事項】

- (1)平成 26 年度全国正会員会長・理事長会議の静岡開催の結果
- (2)大学生を対象とした産業廃棄物処理施設見学会等の開催結果
- (3)「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の実効性の確保
- (4)会員に関する事案（委託基準違反容疑と不適正処理容疑）
- (5)平成 26 年度第 3 四半期（10 月～12 月）事業の実施状況

【出席等】

理事総数	29 名
決議に必要な理事の数	15 名
出席理事数	26 名
出席監事数	1 名

(3) 運営委員会

平成 26 年 4 月 18 日、10 月 16 日、平成 27 年 1 月 15 日、3 月 16 日に運営委員会が開催され、総会及び理事会へ付議する議案等についての協議が行われた。

(4) 適正処理委員会

平成 26 年 9 月 9 日、平成 27 年 3 月 20 日に適正処理委員会が開催され、適正処理事業等についての協議が行われた。

(5) 広報委員会

①会議

平成 26 年 5 月 16 日、9 月 5 日、12 月 4 日、平成 27 年 3 月 11 日に広報委員会が開催され、機関誌等の発行をはじめ、ぼくらはさんぱい探偵団や産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画等についての協議が行われた。

②主な広報 P R

- i) エフエム放送局 K-M I X 社が 6 月に実施する「グリーンスタイルキャンペーン」に協賛して、エコ新聞への広告掲載やラジオ CM による当協会の P R を行った。
- ii) 伊豆支部が平成 26 年 7 月に行った「伊東市八幡野の山中に積み置かれた産業廃棄物の崩落防止作業」に対し県から感謝状を授与されたことが、新聞に掲載された。
- iii) 平成 27 年 1 月 23 日の富士支部の不法投棄廃棄物回収作業が、テレビ放映及び新聞掲載された。
- iv) 東部支部の平成 27 年 2 月 1 日開催の「2015 ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」でのバザー収益金（129,350 円）の「愛の都市訪問」への寄託が、新聞に掲載された。

(6) 災害対策委員会

平成 26 年 11 月 20 日に災害対策委員会が開催され、静岡県災害処理計画策定への対応等についての協議が行われた。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の入会促進

会員以外も参加する講習会等において、入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努めたが、8 件の入会にとどまった。

その一方で 27 件の退会等があったため、平成 26 年度末の会員総数は 1,118 会員となった。

【平成 26 年度会員数の推移】

区 分		平成 26 年 4 月 1 日	入 会	退 会	平成 27 年 3 月 31 日	
正 会 員	処 理 業 者	収 集 運 搬	375	2	13 (1)	364
		中 間 処 分	317	0	6	311
		最 終 処 分	34	0	1	33
	小 計		726	2	20 (1)	708
	排 出 事 業 者	排 出 事 業 者	330	3	5	328
		団 体	28	0	0	28
		小 計	358	3	5	356
計		1,084	5	25	1,064	
賛 助 会 員		53	3	2	54	
合 計		1,137	8	27 (1)	1,118	

※退会等の主な理由

- ・ 処理業者では、業の廃止、業務の縮小、会費が 1 年以上未納等
- ・ 排出事業者と賛助会員では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

※退会の欄の () の数字は、内数で、会費の 1 年以上未納等による会員資格の喪失

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや環境情報の配信等に役立てた。

事業報告の附属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。